
貧酸素情報

鹿児島県水産技術開発センター
 平成29年9月21日(木)

鹿児島湾 貧酸素情報 No.1

[1] 9月20日の調査結果

(1) 貧酸素水塊の状況

30m以浅において4.0mg/Lを下回る貧酸素水塊が湾奥の3定点で確認されました。(下図参照)。

(2) 赤潮生物の出現状況

珪藻類は、全域でほとんどない状況でした。

有害種であるアノガマアノガが重富沖、隼人沖、湾奥中央、福山沖、牛根境沖で確認され、最高は27細胞/mL(重富沖)でした。

各漁協・養殖業者におかれましては、定期的な検鏡等を継続し、十分な注意をお願いします。

(3) 海況

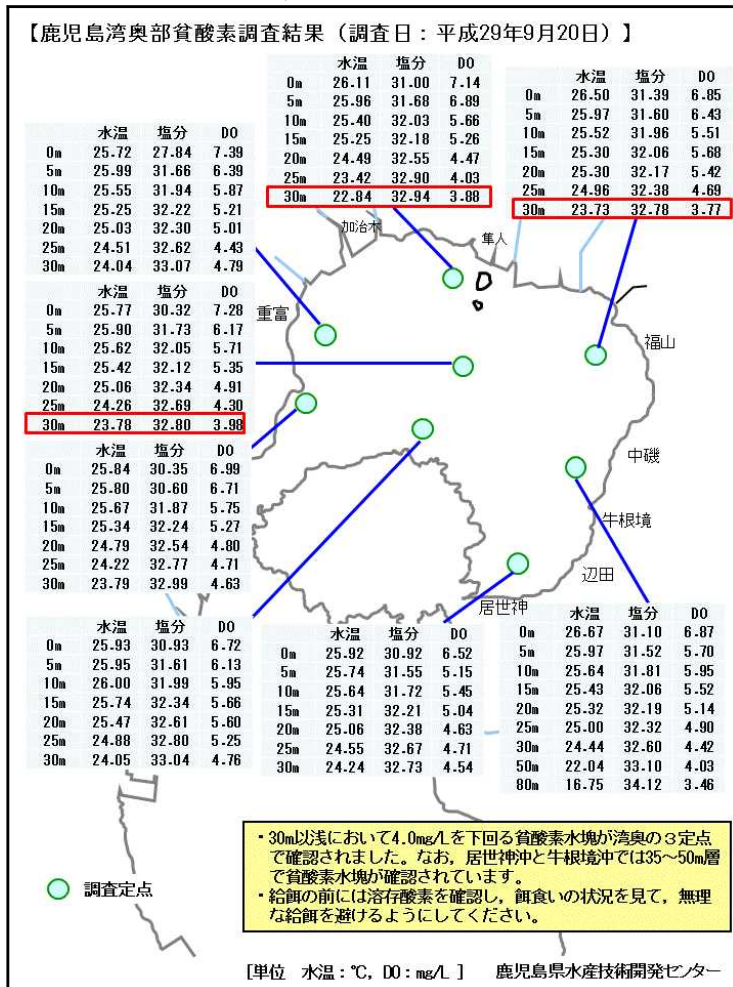
表層水温は湾中央部で26.6~27.1℃、湾奥部で25.7~26.6℃で平年よりやや低め、塩分は27.8~32.8と平年並み、透明度は5.0~15.0mで平年よりやや高めとなっております。

水温：平均	26.2℃	湾奥部	26.0℃	湾中央部	26.8℃
塩分：平均	31.1	湾奥部	30.6	湾中央部	32.5
透明度：平均	8.3m	湾奥部	6.9m	湾中央部	12.5m

(平年値は平成元~28年の9月上旬の平均値)

[2] 今後の貧酸素水塊の予想

牛根漁協調査時(8/25)に引き続き、30m以浅で貧酸素水塊が湾奥の3定点で確認されました。今後、表層水温の降下によって起こる鉛直循環が活発となる10月下旬までは、中層付近で現在のような貧酸素水塊が継続、さらに進行する可能性があるため、注意が必要です。



(注意事項)

- 給餌の際、魚群が遊泳すると、貧酸素層の海水が表層まで浮き上がるおそれがあります。
- 過去、溶存酸素が4.0mg/Lを下回った状況での給餌で、へい死事故が発生した事例がありますので、注意が必要です。
- 給餌の前には、必ず溶存酸素量を確認し、餌食いの状況を見て、無理な給餌を避けた方がよいでしょう。

赤潮情報(携帯電話)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(パソコン)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

